

《第9回会議で話し合われた内容等》

- ◆ 教育委員会から、第7回会議で提示された統合案に対する採決が提案されましたが、審議が不十分であるとして合意はできませんでした。
- ◆ これによって、令和4年4月の統合と令和3年4月からの委託選択通学の実施はなくなりました。
- ◆ 教育委員会から、これ以上統合を遅らせることはできないため、令和3年3月までに検討委員会で合意できない場合は、教育委員会が統合案を作成し、審議会への諮問・答申を経て統合を決定する「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」※（以下「新計画」という。）に基づく取り組みに同年4月から移行する旨の方針説明がありました。
- ◆ 3月までの検討委員会の進め方については今後、両校の正副代表委員と事務局で協議することになりました。

主な発言等（☆：各委員からの発言、⇒：事務局からの説明）

- ☆ 第7回会議における教育委員会からの提案を今回合意できない場合は、どうなるのか。令和3年3月まで話し合うことはできないのか。
- ⇒ 今回合意できなかった場合、スケジュールの関係上、統合は1年先送りになり、令和5年4月以降となる。令和3年3月まで話し合うことは可能であるが、それまでに合意できない場合は、教育委員会としてこれ以上統合を遅らせることができないため、令和3年4月からは、新計画に基づく取り組みへ移行する。
- ☆ 新計画は、いつ策定されたものか。また、検討委員会を継続しているにもかかわらず令和3年4月から新計画に変更することができるのか。
- ⇒ 新計画は平成31年3月に策定されている。また、新計画への移行は、行政の裁量で移行できると認識している。
- ☆ 教育委員会の提案に賛成である。名城学区と御園学区は親しい間柄であり、意見を言うことがあっても、言い争いはしたくない。「名城御園」という名前がベストとは思わないが、両校が合意するためにはこれ以外にないのではないか。いつまでも校名について話し合うのではなく、統合後の学校を立派な学校にするための話し合いをしたい。
- ☆ 検討委員会で両校の合意を得て統合を決めるよりも、教育委員会主導で統合を進めればよいのではないか。統合したいのであれば、教育委員会が主導する方法で決めてほしい。また、自分も統合後の子どもたちにとってより良い学校にするための話し合いに時間を使いたい。
- ☆ 検討委員会で話し合い、御園小学校の跡地利用等を統合の条件として入れたほうが統合後に良い学校ができると思う。それが、検討委員会で話し合いをもつメリットであると考えている。

※ 「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」は、市のホームページからご覧いただけます。
(裏面参照)

◆次回の会議について

日時：未定 開催日時は、会議開催の2週間前までに下記ホームページに掲載します。
内容：校名、統合時期、合意事項 等
会議の傍聴方法は、会議の開催案内とともにホームページで掲載します。

◆小規模校対策2校合同検討委員会の内容等について

検討委員会の資料やニュース等は、市のホームページからご覧いただけます。
<https://www.city.nagoya.jp/kyoiku/page/0000112879.html>



◆ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画について

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-10-5-5-5-2-0-0-0-0.html>



◆お問い合わせ先（事務局）

皆さまからのご意見やご質問を受け付けています。EメールまたはFAXでお寄せください。
名古屋市教育委員会事務局総務部教育環境計画室
Eメール：a3226@kyoiku.city.nagoya.lg.jp FAX：052-972-4176 TEL：052-972-3282